

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

平成27年12月1日発行 通巻239号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・ 総務企画委員会
建築関係五団体合同年賀会のお知らせ・・・ 2
- ・ 空き家管理等支援委員会
空き家相談窓口開設報告
- ・ 祝! 受賞報告
- ・ 滋賀けんせつみらいフェスタ開催!
- ・ 青年委員会
『研修旅行 2016 in 鹿児島』のご案内・・・ 3
- ・ 「第3回 青年建築士交流会～話して
広がる青年建築士の輪～」開催を予定
しています!
- ・ 青年委員会
あーき塾 地域産業ブランド化講座～
地域産業のトータルデザイン～
開催のご案内…………… 4
- ・ 女性委員会 Doシリーズ No.70
～まちづくりから学ぶ～
先進地、高松丸亀町商店街の100年先を
見据えた街づくり ご案内
- ・ 総務企画委員会
第35回 近畿建築祭「和歌山大会」報告
…………… 5～6
- ・ 青年委員会
あーき塾 遠藤照明MARIOT CLUBによる
ヒカリイク講座 事業報告
- ・ 総務企画委員会
第58回 建築士会全国大会「石川大会」
参加報告…………… 7
- ・ ヘリテージマネージャー支援委員会
滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座報告
- ・ まちづくり委員会
第6回建築甲子園 県内推薦作品決定・・・ 8
- ・ 情報広報委員会
2016年度フォトコンテスト作品募集
- ・ 建築の春…………… 9
- ・ 滋賀職能大（ポリテクカレッジ）
からのお知らせ…………… 10
- ・ 事務局
会員登録確認のお願い
- ・ 12月の暦
- ・ 残しておきたい滋賀の建築 第20回
阿部家主屋（東近江市能登川町）



旧御園村役場（現かきみその役場）（東近江市林田町）

明治41年（1908年）築造 木造2階建瓦葺

明治22年（1889年）の町村制の施行に伴い、近隣地域が合併し御園村が発足した。そして明治41年、当時の人々の尽力により、御園村役場が建設された。木造2階建、板張り瓦葺きの和洋折衷の建物で、外壁の板張りは、ペンキが塗られていないためか素朴な風合いが感じられる。

平成22年に、先人が残してくれた大切な遺産をまちづくりに生かそうと、改修整備され、現在はまちづくりの拠点として活用されている。建物名を「かきみその役場」と名付けられたのは、この地の歴史と建物の由来からだ。古来（奈良、平安時代）当地は奈良大安寺等の荘園であり、柿の多い地域であったことから、柿御園と呼ばれていたと伝えられている。また、惟喬（これたか）親王の命名を受けたと言う説もあるが、いずれにしても、長い歴史と共に歩んできた地名である。建物は、御園村発足後、御園村役場として建設された由来を残すため、「役場」の言葉を使用し、「かきみその役場」としたようだ。もちろん、市役所の支所と言った機能を持つものではない。

今は、地域のシンボリック的存在として親しまれ、様々なサークル活動に使用され、多くの活動拠点として多用途に活用されている。

（東近江市「滋賀文化のススメ」・「まち協みその」広報紙・東近江市資料抜粋）

建築関係五団体合同年賀会のお知らせ

開催日時：平成28年1月8日(金) 受付15:30～ 年賀会16:00～

場 所：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」

会 費：5,000円

※詳細は月刊「家」11月号同封案内書をご覧ください。引き続きお申込みを受け付けております。

空き家に関する相談窓口を設置しました

本会は（公社）滋賀県宅地建物取引業協会と協議会を結成し、国による27年度空き家管理等基盤強化推進事業の採択を受けました。10月より空き家所有者と空き家利用希望者を対象とした相談を受けています。

空き家所有者等からの相談に対し、滋賀県弁護士会、滋賀県司法書士会、滋賀県土地家屋調査士会、（公社）滋賀県不動産鑑定士協会、（公社）滋賀県社会福祉士会、全日本不動産協会滋賀県本部、シルバー人材センターと連携して空き家の管理、活用、解体へ向けた多角的な対応を準備しています。

滋賀県空き家管理等基盤強化推進協議会のウェブサイト

<http://shiga-akiya.jp/>



祝！ 受賞報告

平成27年度日本建築士会連合会会長表彰受賞。

竹田久志氏（甲賀地区）

竹田氏は理事を7期14年務められ、本会の発展のためにご活躍されています。平成19年からは情報広報委員会委員長として会の運営や広報に功績をあげられ、平成25年度より甲賀地区委員会委員長、甲賀市コミュニティ推進協議会委員、平成26年度より滋賀県ヘリテージマネージャー実行委員会委員を歴任され、社会貢献、及び会員の地位と技術の向上に尽力されています。



表彰会場にて、竹田久志氏

平成27年度建設事業功労滋賀県知事表彰受賞。

中本美栄子氏（甲賀地区）

中本氏は平成21年より3期6年、女性委員会委員長を務められ、女性建築士の地位向上、技術の研鑽に尽力されました。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。



滋賀県庁にて、中本美栄子氏

滋賀けんせつみらいフェスタ開催！

建設業の魅力を発信し、現在及び将来の建設産業の担い手確保の促進に寄与することを目的に、若年層や女性また将来の担い手となるより若い世代に対してその魅力を発信するフェスタが11月8日(日)に大津港周辺において開催されました。

本会では「魅力アップイベント実行委員会」を立ち上げてこのフェスタに参画し、各委員会活動パネルの展示や住まいや耐震・空き家に対する相談会、建築甲子園の作品展示と県内工業系高校生の作品展示、積木遊びや木工パズル等のゲームコーナーを設ける等の工夫を凝らして、建築士会・建築士の存在や役割、魅力をアピールしました。



けんせつみらいフェスタ会場の様子



県内工業系高校生徒作品展示



子供たちで賑う遊びコーナー



滋賀県建築士会ブースの様子

今月は「CPD講座プログラム」の記載をお休みさせていただきます。

今年は鹿児島を研修先の地に選定しました。7月に世界文化遺産として、『明治日本の産業革命遺産』が登録されました。鹿児島には多数の構成遺産が存在しており、その一部を今回の研修で訪れます。

2日目は知覧にも足を運び、知覧の歴史や文化を学びます。

なかなか行くことが出来ない鹿児島です。ぜひ、この機会に行きましょう！

多数のご参加をお待ちしております。



日 程：平成28年 1月23日(土)～24日(日)

行 き 先：世界文化遺産 旧鹿児島紡績所技師館・仙巖園【磯庭園】・旧集成館機械工場
知覧伝統的建造物保存地区・知覧特攻平和会館・鹿児島大学『稻盛会館』

募集人数：30名（会員及び家族会員）

CPD単位：3単位（予定）

参 加 費：会員50,000円 会員御家族60,000円 ※参加人数により増減の可能性があります。

申し込み：下記の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、建築士会事務局へFAXをお願いします。

締め切り：平成27年12月22日(火) ※ただし、定員になり次第締め切ります。

※参加者には、後日、FAXまたはメールにて詳細をお知らせいたします。

◆行程（予定）※気象条件・交通機関の都合により変更になる場合があります。

集合場所：JR新大阪駅（参加者には、後日詳細を連絡します）

1/23(土)…新大阪発（08：04）⇒ 鹿児島中央着（12：15）⇒ 旧鹿児島紡績所技師館（世界文化遺産）⇒ 仙巖園【磯庭園】⇒ 旧集成館機械工場（世界文化遺産）⇒ 宿泊ホテル『鹿児島ワシントンホテルプラザ』⇒ 夕食（鹿児島郷土料理）

1/24(日)…ホテル発（8：30）⇒ 知覧伝統的建造物保存地区 ⇒ 知覧特攻平和会館 ⇒ 昼食 ⇒ 鹿児島大学『稻盛会館（設計：安藤忠雄）』⇒ 鹿児島中央駅（16：36）⇒ 新大阪着（20：48）

青年委員会 研修旅行 2016 in 鹿児島 参加申込用紙

お名前(フリガナ)	連 絡 先	会員 御家族	宿泊部屋の希望 (いずれかに○記入)	
	CPD番号	会員 ・ 御家族	禁煙 ・ 喫煙	シングル ・ ツイン
	FAXまたはE-mail			
	当日連絡先（携帯番号等）			
	CPD番号	会員 ・ 御家族	禁煙 ・ 喫煙	シングル ・ ツイン
	FAXまたはE-mail			
	当日連絡先（携帯番号等）			

※宿泊部屋の希望ですがご希望に添えるように手配させていただきますが、ホテルの都合によりご希望に添えない場合もあります。

※取得した個人情報、「青年委員会 研修旅行 2016 in 鹿児島」以外に使用しません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **〈FAX.077-523-1602〉**（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

「第3回 青年建築士交流会～話して広がる青年建築士の輪～」開催を予定しています！

開催日時：平成28年2月6日(土) 17：30～19：30

開催場所：ピアザ淡海 6F クリスタルホール

詳細は平成28年1月号にてご案内いたします。

青年委員会

あーき塾 地域産業ブランド化講座～地域産業のトータルデザイン～ 開催のご案内

今回のあーき塾では、古川ちいきの総合研究所代表・古川大輔氏を招き、地域産業ブランド化の講座を開催します。地域林業の衰退が進む中、新たな建設業・素材生産の方向性や、地域産業活性化のアイデアを学び、「サービス提供力」「経営力」などを磨く内容となりますので、是非ともご参加下さい。



日時：平成28年1月30日(土) 13時00分～ **受付** 13時20分～17時00分

会場：ビバシティ彦根 2階：研修室1・2 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43番の1
JR琵琶湖線 南彦根駅より徒歩3分（駐車場有）

定員：60名（先着順）

参加費：建築士会会員・本会及び彦根地域会賛助会員（1名まで）・学生…無料
建築士会非会員・上記賛助会員（2名以降）…1,000円

申込先：公益社団法人 滋賀県建築士会

TEL：077-522-1615 FAX：077-523-1602 E-Mail：shiga-sa@mx.bw.dream.jp

申込締切：平成28年1月15日(金)

主催：（公社）滋賀県建築士会 青年委員会

共催：滋賀県建築士会彦根地域会

後援：滋賀県・彦根市・多賀町

あーき塾 地域産業ブランド化講座～地域産業のトータルデザイン～ 参加申込用紙

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	電話番号	メールアドレス or FAX番号	
参加区分	会員 / 本会及び彦根地域会賛助会員 / 学生 / 非会員		
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報、あーき塾 地域産業ブランド化講座～地域産業のトータルデザイン～以外には使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **〈FAX.077-523-1602〉**（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

女性委員会

Doシリーズ No.70

～まちづくりから学ぶ～

先進地、高松丸亀町商店街の100年先を見据えた街づくり ご案内

「地元の人々を核にした、人にやさしく持続できるコミュニティ」を目指し、向こう100年を見据えた、高松市丸亀商店街の再開発事業の見学研修を行います。

開催日時：平成28年3月5日(土)～6日(日)

研修場所：香川県高松市丸亀町

定員：25名（先着順）

CPD単位：取得予定

3月5日 7:30 大津裁判所前出発～3月6日 18:00 大津裁判所前到着のバス移動です。

※詳細は1月号にてお知らせします。



全体報告

10月3日、『開創1200年の輝き』～世界遺産・霊場高野山に集う～をテーマに、高野山大学 松下講堂黎明館を会場に開催されました。滋賀からは29名が参加しました。開催地和歌山県建築士会池内会長、連絡協議会岡本会長のご挨拶にて式典が始まり、続いて高野山大学准教授森本和彦氏による基調講演「高野文化圏における民族・歴史」を拝聴しました。午後からは5つのコースに分かれて各々が霊場高野山に触れました。



式典の様子



参加者集合写真

エクスカーション1 「奥の院コース」

一の橋から奥の院御廟に至る参詣道を巡りました。



奥の院 御廟

エクスカーション2 「国宝・近代建築コース」

高野山の国宝・近代建築を巡りました。



高野山大学図書館



根本大塔



金剛峯寺不動堂

エクスカーション3 「蓮華定院コース」

蓮華定院の大奥様（90歳）に、明治5年女人禁制が解かれるまで、女性の入山が厳しく規制されていた宗教都市高野山での女性の関わりを、宿坊という宗教施設・蓮華定院での日々を通してお話いただきました。



大奥様の講話

セッションー 1 「近畿ヘリテージネットワーク報告会」

セッションー 1 では1、堂宮大工、尾上恵治氏による「中門再建を語る」の講演、2、近畿各府県のヘリテジャーによるパネルディスカッション、3、高野山大学図書館と金剛峰寺伽藍中門を巡るミニエクスカーションが行われました。

本年4月に再建された中門の施工にあたられた尾上氏からは、材料の調達から完成に至るまでの経過を、伝統技術の忠実な再現で得られた精度や施工時の様子について苦労話を交えてお話を頂きました。またセッションの後半では武田五一設計の高野山大学図書館（1929年完成）見学と、再建された中門を見学させていただき、中門では尾上氏の現地説明の後、細部まで丹精こめて施工された丹土（につち）色に輝く荘厳な門を堪能しました。



セッションー 2 「青年委員会 近畿あーきてくとvol.23 事業報告」

10月3日(土)、和歌山県の高野山にて行われました第35回近畿建築祭のセッションとして、地域実践活動発表会『近畿あーきてくとvol.23』が開催されました。開催地が和歌山県と、少し遠方ではありましたが、多くの方にご参加頂きました。

今回は、高野山での開催ということもあり「継ぎ伝える」をテーマとし、近畿二府四県の代表+学生の7組により、各地で活動されている地域実践活動の発表を行って頂きました。

滋賀県からは、当会会員（彦根地区）の伴 政憲さんに、「kikito（湖東地域材循環システム協議会）」について、山の現状をよくする様々な取り組みの発表を行って頂きました。他府県からも幅広いジャンルの発表があり、参加者の方は真剣に発表を聞き入っておられました。これから我々、建築士が如何に職能を生かし地域のために貢献していくべきなのか、また、それを次の世代に継ぎ伝えていく難しさを考えさせられる、大変有意義な発表会となりました。



青年委員会

あーき塾 遠藤照明MARIOT CLUBによるヒカリイク講座 事業報告

10月14日(水)に、長浜市役所多目的ルームにて、あーき塾「遠藤照明MARIOT CLUBによるヒカリイク講座」を開催しました。講師には、遠藤照明MARIOT CLUBの方をお迎えし、第1部と第2部では照明の基礎や間接照明について学び、第3部では5～6人のグループに分かれて、第1部と第2部で習った1/2照度角や間接照明について、実際に照明器具や照度計を使って体感し、大変充実したセミナーとなりました。今回のあーき塾は長浜での開催ということもあり、滋賀県建築士会湖北地域会と共催し、会員以外の方にも、多数のご参加を頂きました。今後とも多くの方に興味を持って頂けることを題材とした「あーき塾」の開催を行って行きますので、ご参加頂けますようお願いいたします。



全体報告

(公社)日本建築士会連合会の第58回全国大会「石川大会」が開催されました。テーマは「百万石の地で触れよう 未来につなぐ まちづくり」。青年建築士フォーラムを始めとし、10月29日～31日の日程で、滋賀からは32名が参加しました。交流セッション（まちづくり委員会・青年委員会・女性委員会）、活動パネル展示会場も設けられ、各々、情報収集や他府県の会員との交流に努めていました。石川県立音楽堂を会場に、前金沢市長山出保氏の基調講演、大会式典が催されました。翌日は滋賀の会員で金沢21世紀美術館、ひがし茶屋街、近江町市場を観て建学し、伝統芸術・文化に触れてきました。



参加者集合写真

第6回全国建築士フォーラム「あつまれ！青年建築士～魅力ある未来社会につなぐ地域実践活動～」

青年委員会 第6回 全国建築士フォーラムin石川 地域実践活動発表会 事業報告

第58回建築士会全国大会「石川大会」の前日（10月29日木）に、連合会青年委員会が主催する『第6回 全国建築士フォーラムin石川 地域実践活動発表会』が、石川県立音楽堂 地下1階 交流ホールにて開催されました。このフォーラムは、全国47単位士会の活動の中から、各ブロックより選出された代表事例をもとにテーブルディスカッションを行い、発表者や全国の仲間達との語りを通し、自県での活動のヒントを得るため、毎年全国大会の前日に開催されています。今年度の近畿ブロックの代表として、当会より、平成25年・26年度に青年委員会事業として開催した対外交流事業「滋賀県内大学生設計コンペ」を、当時の事業主担当者で青年委員会OBの片淵 良氏に発表を行って頂きました。

また、テーブルディスカッションにおいては、1発表事業で2テーブル設けられたため、片淵氏に加え、当時の事業部会担当副委員長であった、根縫 徹也氏に事業詳細の説明及び質疑応答をして頂きました。なお、当フォーラムでは、アワード選考も行われておりました。たくさんの方に投票を頂いたのですが、残念ながら十分な期待に応えられず、奨励賞となりました。しかしながら、滋賀での取り組みを全国の青年建築士に知って頂けたことや、他地域での事業への取り組みやその姿勢は学ぶところが多く、大変有意義なフォーラムとなりました。

フォーラム後の懇親会では、全国の青年建築士たちとお酒を酌み交わしながら、色々な情報交換や交流が出来ました。次年度も、全国大会「大分大会」の前日、2016年10月21日（金）に開催予定ですので、全国大会参加と共に、こちらの発表会にもご参加ください。



ヘリテージマネージャー実行委員会

第4回ヘリテージマネージャー育成講座から現地演習が始まり、昨年に引き続き長浜市八木浜に現存する余呉型大型民家「中村家住宅」をお借りして現地実測調査の演習を行いました。10月24日の1回目演習では現地調査に先立って滋賀県文化財保護課主幹菅原和之氏を講師に、県内で実施されている文化財破損調査、保存修理工事の実際について学んだあと「中村家住宅」主屋で実測と聞き取り調査を行った。

第5回講座（11月7日）では横浜国立大学大野敏教授から建物の破損調査と修理計画について学び、続く第6回講座（11月21日）では大野教授指導のもと、「中村家住宅」で破損調査演習と結果を基に修理方針・保存活用計画策定についてグループに分かれての演習が行われました。最終講座となる第10回では、今回の演習を基にグループそれぞれが見つめてきた歴史的建造物について実測調査結果と修理・活用計画をまとめ発表することになっており、各グループメンバーとも連携を取りながら演習に取り組んでいました。

次回第7回講座は東近江市五箇荘金堂地区での重要伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存活用状況を学ぶ現地演習が行われ、本年度のHM育成講座も大詰めを迎えます。



写真－1 中村家主屋での実測調査



写真－2 実測調査（不陸、柱傾き調査）



写真－3 修理活用計画についてグループ討議中



写真－4 中村家主屋での保存活用計画グループ発表



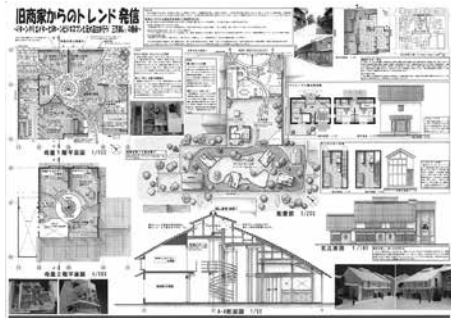
写真－5 大野先生の講評を聞く受講者

2015年 第6回 高校生の「建築甲子園」 “地域の暮らしー空き家を活かすー”

今年度の「建築甲子園」は県内工業系高校から2点の応募があり、11月16日の審査会では審査員の方々の慎重な審査の結果、県立安曇川高等学校の「私たちの町の通学路」が本会推薦作品として連合会へ提出する事が決定しました。全国大会入賞を期待します。



県立安曇川高等学校



県立八幡工業高等学校

会員のみならずの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ	「郷愁（ノスタルジー）」・「フリー」（風景・建物などテーマは問いません）
応募資格	会員による自作作品とします。
応募作品	4つ切（カラー・モノクロ）、ワイドタイプ可、応募点数は問いませんが、作品は未発表のものに限ります。
賞金	大賞作品、入選作品には賞金を予定しています。
募集期間	平成27年12月～平成28年2月9日
審査	第7回「未来の家、未来のまち」子供立体作品展会場にご来場の方々の投票による審査とします。
発表	平成28年5月 機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表 (http://www.kentikushikai.jp/)
応募方法	下記応募票に必要事項をご記入いただき、作品の裏面に糊付けの上、（公社）滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。
送り先	〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階 （公社）滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615
応募細則	1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手（500円分）を同封頂ければ返却いたします。
主催団体	公益社団法人滋賀県建築士会

公益社団法人滋賀県建築士会2016年フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	
住所	〒	連絡先TEL	

※取得した個人情報は、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

若き建築士たちの熱き思いを、取材を通してご紹介していく新シリーズ「建築の春」です。

第二回

澤 昭彦 さん

湖北地区（アトラ建築設計事務所代表）

心地よく愛着のある普通の デザインを提案するために

長浜市の県道沿いに目を引く黒い建物がある。澤氏の自宅兼事務所だ。奇抜なデザインや装飾はないが心に残るその建物は澤氏の設計コンセプトが現れているように感じる。アトラ建築設計事務所は住宅や店舗設計を手がけている。特に木造住宅を設計することが多いが、最近は施主がしっかり勉強していてニーズを持たれていることが多くなってきたという。“お話を聞いて正直にメリットデメリットを説明して相談しながらプランを煮詰めていく。”

その中で心掛けていることが3つある。1つ目は、建築士だからこそできる外観や内観・機能性を含んだ心地いい空間を提案することだ。2つ目は、愛着をもってもらえる建物にすること。“残念ながら何千万円かけて家を建てても、どんどん不動産価値が失われていく。その家で育った子供が、またリフォームして住みたいと思える家にしたい。”打合せが長時間になり大変なこともあるが、お施主様に一緒に協力して建てたという想いを持ってもらうことで、さらに愛着が増すのだという。3つ目は、普遍的なデザインの提案をすることだ。“古くからの名建築がみすばらしく見えないのと同じように、いつまでも変わらない価値観のものにしたい。いかにも今の流行やムーブメント的な要素は避けるようにしている。この3つのコンセプトを念頭においてぶれない設計を目指す。その意図を確実に現場へ届けるために丁寧に図面を描いていきたい、と話す。

最近建てられる住宅のほとんどが簡単な図面だけで施工されており、設計者がほとんど関わっていないのが現実だ。“お施主様から報酬を頂いているのだから、きっちり図面を描いてそれをしっかり検討したうえで現場に持っていったら、もっと喜んでいただける物件になる。”しかし、ここまでの細かい図面を描く時間や現場に足を運ぶことに時間を費やせるだけの設計報酬が、ほとんどの場合出ないのが現実だ。お施主様にとって設備などに投資することとは違い、設計料を払うという意識が薄いからだ。“協力して設計者の地位が上がるようにしたい。そうすることで、設計者が関わったいい建築が建てられお施主の利益にもつながる。”

また、施主・設計者・工務店が協力し合って正直な意見を出し合い、いい方向にベクトルを向けることが大切で、三者のパワーバランスが崩れないようにしているという。澤氏は、施主の想いと現場サイドをうまく繋ぐ役目も担っている。

事務所を開業して3年、だいぶ足場が固まってきた。5年後10年後にはよりやりたい仕事ができる状況になっているのではないかと話す。

“建築の世界に入って最初に担当した物件は大変だったけど、足場がばれるときの感動が忘れられない。完成したときはお施主様に、遊びに来てくださいね、と言っていたりなど、相対的に見て幸せな仕事に関わっていると思う。お施主様や業者さんから次の仕事を紹介していただけるようになってきたので、これからも信頼にこたえられるように勉強して向上していきたい。”（取材 ki. haru）



1977年生まれ。

大学卒業後、建設会社工事、設計部にて公共建築、住宅、店舗、共同住宅などに従事。

2012年アトラ建築設計事務所設立。



詳細な納まり図によって
施工された階



手掛けた美容室の外観



手掛けた住宅の内観

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH061	福祉住環境実践技術	¥7,500	10	2016/2/21,28(日程変更)	9:30~16:30

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の概要は <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H27/2015ch.pdf>

ネットでの受講申し込みは http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/h27/entry2015.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

CADの操作方法をはじめ、構造、環境・設備などにおけるピンポイントのテーマについて、職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254
FAX: 0748-31-2255

事務局 会員登録確認のお願い

会員みなさまに登録について確認をさせていただきます。

2014年の会員名簿発行後、記載内容に変更のある方はご連絡ください。

公益社団法人 滋賀県建築士会

事務局 TEL 077-522-1615

12月の暦

1	火	大安		11	金	大安		20	日	友引	
2	水	赤口					青年委員会あーき塾	21	月	先負	
3	木	先勝	二級・木造試験合格発表	12	土	赤口	青年委員会会議 近建女継続セミナー	22	火	仏滅	
4	金	友引						23	水	大安	天皇誕生日
5	土	先負	第7回ヘリテージマネージャー養成講座	13	日	先勝		24	木	赤口	
6	日	仏滅					第5回理事会・四役会 意見交換会	25	金	先勝	
7	月	大安	ヘリテージマネージャー支援委員会 情報広報委員会	14	月	友引		26	土	友引	
8	火	赤口		15	火	先負		27	日	先負	
9	水	先勝	第3回定期講習 中部建築賞表彰式	16	水	仏滅		28	月	仏滅	御用納め
10	木	友引		17	木	大安	一級建築士合格発表	29	火	大安	
				18	金	赤口		30	水	赤口	
				19	土	先勝	女性委員会全員会議	31	木	先勝	

残しておきたい滋賀の建築 第20回

阿部家主屋（東近江市能登川町）

木造2階建瓦葺き

明治16年築造。白漆喰壁、木格子、虫籠窓のある木造建築であり、伝統的商家として歴史的価値がうかがえる。

旧街道沿いに面し、長年存続してきた商家として、また、往年の賑わいや昔ながらの町並みを今に伝える存在として、重要な建物である。

東近江市景観重要建物指定資料より

